

Course Code	5121010	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	環境法				
Faculties	中谷 和弘／大塚 直／桑原 勇進				
Course Objectives/Overview	<p>わが国では幾多の公害事件訴訟を通して不法行為や差止め等をめぐる民事法理論に大きな進展が見られたところであり、まずはその流れを把握するとともに最新の問題状況を正確に理解することが第一の課題である。しかし、損害賠償や差止めといった民事法の伝統的なテーマに思考を局限することなく、環境救済法という枠組みの下に、経済学理論に基づく近時の救済手法や環境哲学に立脚する新たな救済原理などをも視野に収めた幅広い考察を求めていく。さらに環境法の国際的側面についても理解を深めてもらうことを目指す。</p>				

Course Code	5121020	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Competition Law and Policy				
Faculties	VANDE WALLE, Simon A.W.				
Course Objectives/Overview	<p>This course will help students understand the fundamentals of competition law: the key concepts and rules, as well as the reasoning behind the rules. We will do this by looking at competition law in three jurisdictions: the EU, Japan and the United States. Each of these jurisdictions has its own approach to competition law but there is a common core of fundamental principles. The class is taught in English but students are free to ask questions or give comments in Japanese.</p> <p>本講義は、競争法の基礎、すなわち主要な概念、ルールとその背景にある理論を理解することを目的とする。</p> <p>本講義では、三地域（EU、日本、米国）における競争法を比較・検討する。それぞれ独自の特徴がある一方、基本となる原則には共通点もある。</p> <p>授業は英語で行われるが、学生の質問及びコメントは日本語であっても歓迎する。</p>				

Course Code	5121022	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Big Tech and competition law: how has competition law dealt with GAFA?				
Faculties	VANDE WALLE, Simon A.W.				
Course Objectives/Overview	<p>Google, Amazon, Facebook and Apple play an important role in the digital economy and in our daily lives. But the rapid growth and market power of these companies has also raised concerns. Have these companies become digital monopolies that threaten competition? Have they abused their market power to exclude smaller competitors? Have they engaged in "killer acquisitions"?</p> <p>This seminar will look at how competition law - known in Japan as antimonopoly law 独占禁止法 - has dealt with these questions. The core of the seminar will be an analysis and discussion of the main cases that have been brought against Google,</p>				

	Amazon, Facebook and Apple. What was at issue in these cases? What has been the impact of these cases? The focus will be on cases brought by the European Commission, which enforces EU competition law, but cases brought by U.S. authorities and the Japan Fair Trade Commission can also be discussed.
--	---

Course Code	5121040	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	経済刑法				
Faculties	和田 俊憲				
Course Objectives/Overview	経済活動を規制する各種法令の罰則について、刑事法の立場から解釈論的な検討を加える。				

Course Code	5121050	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	公共哲学と法				
Faculties	瀧川 裕英				
Course Objectives/Overview	<p>法哲学は、法に適った状態とは何か、その状態に向けて法制度は何をなしうるかを探究する。法哲学が現在精力的に探究する諸問題のうち、この授業では、集合責任の問題を扱う。</p> <p>集合責任とは、複数の個人が関与する責任である。典型的には、国家の損害賠償責任や企業の刑事責任などがあるが、環境を保護する現代世代の責任や、労働環境に配慮しない企業から購入しない消費者の責任、子を養育する両親の責任、など、多種多様な形態が含まれる。</p> <p>いずれにしても、集合責任は個人責任と対比される。個人が自らの行為の結果に対して責任を負うのが、個人責任である。これに対して、集合責任では、①個人が自らの行為の結果でないにもかかわらず集団に帰属しているという理由で責任を負ったり、②集団が責任を負ったりする。こうした集合責任が正当化できるか、正当化できるとしてその条件は何か、が問われるべき問いである。</p> <p>この授業は、総合法政、法曹養成、公共政策の合併で行なわれる。異なるアカデミック・バックグラウンドを持つ参加者の英知を結集して、集合責任という難問に取り組みたい。なお、利用する文献は、主として英語文献となる。</p>				

Course Code	5121080	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	労働法政策				
Faculties	濱口 桂一郎				
Course Objectives/Overview	伝統的な公労使三者構成の審議会において労使団体と政府(厚生労働省)の間で行われる対立と妥協のメカニズムとともに、近年顕著な官邸主導による立法も含め、具体的な労働立法の政策決定過程を跡づける形で、労働法制の内容を説明する。いわば、完成品として				

	の労働法ではなく、製造過程に着目した労働法の講義である。
--	------------------------------

Course Code	5121090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	社会保障法政策				
Faculties	鈴木 俊彦				
Course Objectives/Overview	<p>社会経済、国民生活の中で、社会保障は、現在及び将来にわたり非常に大きな比重を占め、現代行政における社会保障行政の重要性はますます大きくなっている。</p> <p>一方、人口減少・少子高齢化、社会経済の構造変化など、社会保障を取り巻く環境・状況は大きく変貌しつつあり、その中で社会保障について、どのような政策を展開し、どのような保障の形を選択していくかは、「国のかたち」にも関わる重要な問題となっている。</p> <p>こうした状況認識・課題認識に立ち、長年にわたり社会保障各分野の政策の責任者として立案・実施に当たってきた経験を踏まえ、我が国の社会保障の現状と課題、今後の社会保障改革の方向性等について解説し、社会保障に関わる今後の法政策を考える上での基本的枠組みや視点を提供する。その際、社会保障各分野の担当局長など政策担当者等との対話を通じて政策の検討・決定のダイナミズムを共有するとともに、最新の状況を把握し、理解と考察を深める。</p> <p>具体的には、総論として、人口構造の変化、社会経済の変化、国民生活の変化、国際比較等を明らかにしつつ、我が国の社会保障の現状と課題を概観する。各論として、医療、介護、年金、人口減少対策等を中心に、主要分野について、現状と課題、今後の政策の方向性等を概観する。以上を踏まえて、社会保障政策の今後の方向性に関する論点について掘り下げて分析し、総括として今後の社会保障と我が国社会の在り方について考察する。</p>				

Course Code	5121105	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際法の現代的課題				
Faculties	伊藤 一頼				
Course Objectives/Overview	<p>学部における国際法の講義で修得した基礎知識を前提として、さらに深く国際法の理論的問題に取り組むための重要文献を講読し、研究を深めるための素材とする。特に、伝統的な国際法理論に対して新たな課題を投げかけるような事例や議論を取り上げ、今後の国際法の発展を見通すような視点を身につけることが目標である。</p>				

Course Code	5121110	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際租税法				
Faculties	増井 良啓／平川 雄士				

Course Objectives/Overview	租税法の国際的側面を学びます。企業活動がグローバル化する中で、国際取引を行ったときに課税がどうなるかを検討できると、法律家として仕事をする上で大きな強みになります。そこでこの授業では、所得課税を中心にして、国際的な課税問題についてまとめた見通しを得ることを目標にします。制度の理論的基礎を講ずるのみならず、具体的な取引事例を素材とすることにより、問題発見やプランニングのための力を養います。				
----------------------------	---	--	--	--	--

Course Code	5121115	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Transnational Law				
Faculties	TIOJANCO BRYAN DENNIS				
Course Objectives/Overview	How does law within and across national borders create wealth and inequality? How can we rethink and reshape the law to make it more responsive to democratic demands and to bring about more wealth equality? This course joins the law and political economy (LPE) movement in interrogating these questions in three parts. The first is an intellectual history and theoretical critique of neoliberalism and law and economics. The second is an exploration of the promises and perils of transnational law: law which governs actions or events that transcend national borders. The third applies the LPE approach to specific fields of law: constitutional law, labor law, investment arbitration law, finance law, competition law, and migration law.				

Course Code	5121121	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	International Environmental Law				
Faculties	TAKAMURA Yukari				
Course Objectives/Overview	International environmental law (IEL), an evolving branch of international law aimed at protecting the environment, has provided a legal framework for addressing transboundary environmental challenges. The objectives of the course is to deepen understanding of historical developments, basic concepts and principles, feature of IEL in a comprehensive manner, and to examine various contemporary and cross-cutting issues, such as climate change, trade and the environment, and human rights and the environment, with view to exploring a possible solution in a practical and creative manner.				

Course Code	5121130	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際空間秩序と法				
Faculties	中谷 和弘				
Course Objectives/Overview	演習「国際空間秩序と法」 陸・海・空・宇宙を対象とするいわゆる領域論は、国際法の諸分野の中でも非常に重要な分野であり、国際法の解釈・適用の上でもまた外交政策・公共政策上も興味深い様々な素材を提供してきた。				

	この授業では、海洋、国際航空、宇宙、領土をめぐる国際法上の諸課題について、実定国際法の解釈はもとより、明日のあるべき法(国際空間秩序)の提案も射程に入れつつ検討を行う。あわせて、第5の空間といわれるサイバー空間に関する国際法問題(特にサイバー攻撃の問題)についても検討してみたい。
--	--

Course Code	5121150	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ法				
Faculties	伊藤 洋一				
Course Objectives/Overview	<p>東西冷戦の終結とともに、ヨーロッパ連合(EU)は、安全保障をも視野にいたった広い権限を持つ地域的国際組織として、今や国際経済のみならず国際政治においても大きな意義を持つ存在となった。</p> <p>また、ヨーロッパ統合の進展とともに、EU法の重要性は増加の一途をたどっており、特に、EU法の基礎的知識は、EU加盟国の国内法理解に際しても今や不可欠となっている。ヨーロッパ法が、いかにして国内法においても重要性を獲得するようになってきたのかは、国際レベルにおける法の支配の確立事例としても極めて興味深い問題である。</p> <p>近年のユーロ危機、移民危機、ポーランド・ハンガリーの権威主義体制化問題、更にイギリスのEU脱退(Brexit)移行期間の2020年未満了とその後の通商関係等、岐路に立つ欧州統合に関する話題には事欠かない。これらの「複合危機」を背景として、EUに関する報道は少なくないが、残念ながら、日本のマスコミ関係者でも、現実のEUにおける制度設計、法形成がどのようになされ、またどのように運用されているかにつき、正確な理解を持つ者は多くない。一方で、Brexitキャンペーンの際に、「ブリュッセル」が諸悪の根源であって、EUから脱退しさえすれば、全ての問題が解決するという、単純明快なポピュリストの主張が、しばしば報道されたことは記憶に新しい。</p> <p>ところが、Brexitを巡るその後のイギリス国内政治の混迷により、「行き過ぎた欧州統合」を非難するだけで、「グローバル化」による相互依存関係が進んだ現在の世界における全ての問題が解消するわけでもないことが、明らかとなった。EUが常に「非民主的」だと非難され、「ブリュッセル」だけが諸悪の根源だとする非難は本当に正しいのか、正しいとした場合、誰もが「民主的」だと認めるような制度は、どのようにすれば形成できるのか。それほどまでに「非民主的」な組織であるにも拘らず、なぜ加盟国は、イギリスの後を追って次々に脱退し、あるいはEUを直ちに廃止しようとならないのか、といった疑問が次々に浮ぶであろう。</p> <p>一言で言えば、グローバル化の進展過程において、古典的な主権国家の枠を超える「民主的」な国際組織をどのように設計すべきかという大きな問題としても、EUの制度・運用の研究は重要な意義を持つのである。</p> <p>以上のように、EC/EU法は、従来の古典的国際法とどのように異なるのか、加盟国の国内法との間にどのような影響関係があるのか、「民</p>				

	<p>主的」な国際組織の設計はどのようなものであるべきかといった問題は、学問的にも重要な理論的問題を提起している。</p> <p>本講では、上述のような近時の問題状況をも念頭に置きつつ、現行法たるリスボン条約を中心に講義を行う予定である。EU法の対象分野は、共同体管轄事項が拡張されてきた結果、今や多岐にわたっているが、EU組織法の理解は、個別のEU実体法理解のため不可欠の前提となる。本講では、EU法の総論部分にあたる組織法、具体的には、EUの機構、法源、争訟制度等について順次講じる予定である。</p>
--	---

Course Code	5121175	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	行動経済学と法政策				
Faculties	飯田 高				
Course Objectives/Overview	<p>この授業では、近年多くの展開がみられる「行動経済学 (behavioral economics)」の知見をもとに、法制度が果たしている機能や役割について検討します。行動経済学とは、「人間が合理的または利己的に行動する」という仮定を置かず、人間行動およびその相互作用を探究しようとする経済学の一分野です。伝統的経済学との差異だけでなく連続性にも十分注意を払いながら、現実の法律や政策を分析するための視座を提供していきたいと考えています。</p> <p>授業名にあるように「法と行動経済学 (Law and Behavioral Economics)」と呼ばれる分野を中心に扱いますが、その枠にとらわれることなく、必要に応じてさまざまなトピックを取り上げます。法学政治学研究科以外の方の参加も歓迎します。</p>				

Course Code	5121201	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ統合と法 1				
Faculties	伊藤 洋一				
Course Objectives/Overview	<p>ヨーロッパ統合の大きな特色は、「法による統合」であることである。特に、広義のヨーロッパ法(EU法およびヨーロッパ人権法)の国内法に対する優越の結果、加盟国においては、国内法の「ヨーロッパ法化」が近年顕著な現象となっており、ヨーロッパ法の影響を無視して加盟国の国内法のみを研究することは、もはや困難となってきた。特に、ヨーロッパ諸国の基本権保障については、ヨーロッパ人権条約およびEU基本権憲章の影響を無視することはできなくなっている。</p> <p>本演習では、そのような動向の具体的事例として、近時ヨーロッパで大きな問題となっている「法の支配」、特に司法権の独立に対する執行権の攻撃に関わる、EU法およびヨーロッパ人権条約法の展開を分析したフランス語論文を教材として講読する予定である。同論文は、国内法と二つのヨーロッパ法が交錯する新たなヨーロッパ法の形成を分析するもので、近年のヨーロッパ諸国における広義のヨーロッパ人権法の影響増大と、その課題を考察する手掛かりとなるで</p>				

	あろう.
--	------

Course Code	5121202	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ統合と法 2				
Faculties	伊藤 洋一、網谷 龍介				
Course Objectives/Overview	<p>EU 加盟国における，国内法の「ヨーロッパ法化」が顕著な現象として注目されるようになって既に久しい。このような現象は，EC/EU 法における直接適用性・国内法に対する優越原理の形成と不可分である。</p> <p>しかし，ヨーロッパ法といえども，一日にして形成されたものではない。往々にして見受けられるデマゴグの主張するところとは異なり，ヨーロッパ法は，決して加盟国と全く無関係に「ブリュッセル」が形成してきたものではなく，既に半世紀にわたる，EC 裁判所（リスボン条約発効以後は，EU 裁判所と改称）と国内裁判所との相互影響関係，近年頻繁に使われるようになった言葉を用いれば「裁判官の対話(dialogue des juges, judicial dialogue)」を通じて形成されてきたものである。</p> <p>残念ながら，日本における従来のヨーロッパ法研究は，ともすればヨーロッパレベルの動向のみを対象とし，その動的な性格を軽視しがちであったが，ヨーロッパ法は，決して EU 裁判所が象牙の塔の中で無から作り上げたものではなく，加盟国の国内裁判所との間の相互的影響のもとに形成されてきたものであることを忘れてはならない。換言すれば，国内法の「ヨーロッパ法化」は，一面では，ほかならぬ加盟国の国内機関の手によるものなのである。</p> <p>このような相互的影響は，実定法解釈学としての EU 法研究のみならず，アメリカを中心とする政治学研究の対象としても注目を集めるようになり，「法と経済学」ならぬ「法と政治学」，具体的には judicial politics 研究として少なからぬ研究業績が蓄積されてきている。ヨーロッパ統合の特色は，「法による統合」である点にあると言われてきたが，これは逆に言えば，EU 法が単なる実定法解釈に止まらない政治的意義を持つということであり，EU 法の形成過程を深く理解するためには，政治学との協働が欠かせない。</p> <p>そこで，今年度は，EU における裁判制度の「要」と言われる先決問題移送手続(EU 運営条約第 267 条 [EEC 条約第 177 条])の運用に関する事例研究(オランダ，イギリス，アイルランド)であり，最近の judicial politics 研究業績の一つでもある</p> <p>Krommendijk, Jasper, <i>National Courts and Preliminary References to the Court of Justice</i>, Elgar Studies in European Law and Policy, Elgar, 2021, 224 p. を取り上げる予定である。</p> <p>本授業は，参加者数等をも考慮のうえ，上記文献を，参加者(参加者の人数によっては，グループ)が毎回分担報告する形式で進める。</p> <p>上記文献を手がかりとして，EU 裁判所と国内裁判所との相互影響関係を具体的に検討することにより，ヨーロッパ法に対する理解を深めることが，本講の目的である。</p>				

Course Code	5121271	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融商品取引法				
Faculties	大崎 貞和				
Course Objectives/Overview	日本における資本市場法制の中核をなす金融商品取引法の全体像を解説する。法規制の技術的側面に過度に目を奪われることなく、基本的な構造と制度の背景となっている考え方を把握することを目指す。資本市場をめぐる時事的な話題も取り上げ、現実の市場のダイナミズムを感じ取れるような講義にしたい。				

Course Code	5121272	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	上級金融商品取引法				
Faculties	大崎 貞和				
Course Objectives/Overview	金融商品取引法に関する基本的な理解を前提としながら、上場会社をめぐる法規制に関連する実務上重要なトピックを取り上げて解説する。				

Course Code	5121290	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	医事法				
Faculties	米村 滋人				
Course Objectives/Overview	医事法は、医療に関するさまざまな法律問題に加え、胚、死体、ヒト由来組織・臓器の法的地位、さらには種々の医学・生命科学研究の法規制の問題など、きわめて広い範囲にわたる問題を扱う法領域である。これらの問題を考える際には、民刑事法、行政法などの一般的知識を前提としつつ、さらに医療政策や生命倫理なども考慮した複合的な問題解決能力が必要となる。本講義では、一般的な医事法の解釈問題につき解説を行うのみならず、医療・医学研究の実態や近時の動向を盛り込みつつ、現実に発生している法的問題を扱うことで、医療を中心とする法的諸問題の問題解決能力を涵養するとともに、医療のあり方や法の役割についての理解を深めることを目的とする。				

Course Code	5121300	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	金融法				
Faculties	加藤 貴仁／松井 智予				
Course Objectives/Overview	この講義では、金融実務に詳しい実務家をゲストとして招いて実務の現状や実際に生起している問題点などを具体的に話してもらい、				

	それに基づいて理論的な分析や展望などを試みる。
--	-------------------------

Course Code	5121380	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	法医学				
Faculties	岩瀬 博太郎				
Course Objectives/Overview	法医学とは法が適正に執行されるべく医学的な助言を行うための学問である。すなわち、国民の安全や権利を守るための医学といえる。法医学は死因究明のほか、虐待を受けた小児等の保護も業務として実施しているが、本講義ではそうした法医学の目的や業務を理解することを目的としている。				

Course Code	5121394	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Perspectives on Law : Japanese Law as Viewed from Abroad				
Faculties	Daniel Foote				
Course Objectives/Overview	For over a century, Western scholars have pursued scholarship on Japanese law. Foreign scholars have produced many excellent works exploring various fields of Japanese law, frequently approaching subjects from perspectives other than those commonly found within Japan. In this course, we will read and discuss leading works on Japanese law written by foreign scholars. The readings will include works from various perspectives, including sociological, historical, economic, and practice-related perspectives. For a few class sessions, depending on availability, foreign scholars will be invited as guest speakers. NOTE: This class will be conducted entirely in English. Heavy emphasis will be placed on class discussion.				

Course Code	5121424	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	アメリカ非営利法人法				
Faculties	溜箭 将之				
Course Objectives/Overview	アメリカは、世界でも非営利セクターが発展した国で、多数の非営利団体が国内外で社会的にも政治的にも重要な役割を果たしている。大規模な非営利団体が存在し、また小規模な団体も活躍し、それらを支える法制度や支援の仕組みも発達している。本授業では、アメリカにおける非営利法人に関わる法制度を、その社会的背景も含めて検討する。日本の非営利セクターの規模は、アメリカなど諸外国と比べて小さいが、日米比較も織り交ぜつつ、今後の市民社会のあり方も含めて考える。				

Course Code	5121433	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	証券市場法演習
Faculties	大崎 貞和／朱 大明
Course Objectives/Overview	金融商品取引法に関する基本的な諸問題について、海外の法制との比較を踏まえつつ、法の考え方を学ぶとともに、実務的な論点について検討する。

Course Code	5121436	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際商事仲裁				
Faculties	唐津 恵一				
Course Objectives/Overview	企業活動のグローバル化に伴い、国際商取引紛争は増大している。国際商取引に関する紛争解決方法として、国際商事仲裁が定着してきており、日本企業が当事者となる国際商事仲裁事件数も増えてきている。本講義においては、序盤に仲裁制度の基礎知識を習得したうえで、国際商事仲裁に関する理論的な枠組みを理解し、中終盤では国際商事仲裁の各論点につき、実務的な観点から、理解を深める。序盤は日本人教員が中心となり日本語で行うが、中終盤は国際商事仲裁に精通した外国人実務家が英語により行う。				

Course Code	5121452	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	アジア・ビジネス法				
Faculties	平野 温郎				
Course Objectives/Overview	企業がグローバルに事業展開する上で必須の機能である「国際企業法務」を、アジア（中国・香港及びいくつかのASEAN 主要国を取り上げる予定）をテーマとして概観する。事業の法的イシュー・リスクを発見し、最適解を導き出すことにより、その持続的な成功を法的に担保するという、所謂「リーガルリスク・マネジメント」（これはビジネスパーソンのコアスキルである）の素養を身に着けることが目的である。将来、企業の法務部門や事業部門で、アジア関係業務を中心に専門性を活かして活躍したい参加者を想定しているが、アジアに関心を持つ参加者も可能な限り歓迎する。				

Course Code	5121454	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際ビジネス法				
Faculties	平野 温郎				
Course Objectives/Overview	企業がグローバルにビジネス展開を行うにあたっては、様々な分野にまたがる国際的なビジネス法の基本的な知識を有するとともに、これを駆使していかに企業価値を最大化するかというビジネスセンスを有し、かつ言語を含めた国際的素養を有する人材が求められ				

	<p>る。本授業はこのような人材育成を念頭に、外国人ゲストスピーカーも含めた複数の実務経験者が教員となり、ビジネスのさまざまな局面における法的問題を概観する。</p> <p>Nowadays, companies developing their businesses globally need business and legal experts who have basic knowledge of various areas of cross-border business law, good business sense for utilizing such knowledge to maximize corporate value and broad exposure to international matters including knowledge of foreign languages. This course will seek to develop student awareness and knowledge of the foregoing human resource imperatives by examining legal issues that arise in various business situations. Lectures will be conducted by instructors, including foreign guest lecturers, who have practical experience in this field.</p>
--	---

Course Code	5121455-1	Term	A 1	Credits	2
Course Title	グレーターチャイナ・ビジネス法 I				
Faculties	平野 温郎				
Course Objectives/Overview	<p>>日本企業が有望な事業展開先国として位置付けるアジア、就中世界第二位の経済大国である中国を中心としたグレーターチャイナの法制度、ビジネス法の概要および主要な課題に対する理解を深める。</p> <p>>グレーターチャイナにおいては、華人が様々なネットワークを構築しダイナミックにビジネスを展開しており、日本企業としてもいかに華人ネットワークとの取り組みを強化していくかは、今後とも重要な経営課題であるが、本講義では、そのような経営課題を認識した上で、ビジネスを持続的、安定的に推進するための法務の知見や思考力、問題解決センスを身につけさせることを目標とする。これは、将来企業法務に携わる者だけでなく、政策立案や事業そのものを担当することとなる者にとっても、十分に意義がある学びとなる。</p> <p>>このパート1では、まず中国の政治、経済体制や法文化について学ぶ。一国のビジネスに関わる法制度を深く理解するには、その背景にあるその国の歴史や来し方、基本的な思考経路を理解することが必要である。これは主担当教員が前職時代に実務において痛感したところである。</p>				

Course Code	5121455-2	Term	A 2	Credits	2
Course Title	グレーターチャイナ・ビジネス法 II				
Faculties	平野 温郎				
Course Objectives/Overview	<p>>パート1で得られた知見を基盤に、中国ビジネス法に関する重要なテーマを取り上げ、理解を深める。</p> <p>>さらに、台湾や香港のビジネス法に関する重要なテーマも取り上げる。</p>				

Course Code	5121458	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and the Formation of Transnational East Asia				
Faculties	MATSUBARA Kentaro / TIOJANCO Bryan				
Course Objectives/Overview	<p>This course explores the visions and historical processes that shaped the political, economic, and legal principles, policies, and practices of a transnational order in East Asia from the mid-nineteenth century to the mid-twentieth. Its focus will be on the trans-Pacific interactions between the United States, Japan, the Philippines, and China, but always with the rest of East Asia in mind. The discussions will delve into the interplay of law, politics, and economics during the period covered. Through these discussions, this class will explore new ways of understanding the historical developments whereby a coherent transnational order was formed in East Asia. The aim will be to overcome the limitations of the two prevalent narratives regarding East Asian history. The first, known as the "Western Impact" model, looks at modern East Asian history in the context of how each society reacted to Western powers attempting to dominate the area through trade and colonization. The second approach has traditionally been presented as an antithesis to the first, focusing on the internal logic of East Asian societies, and modernization in these societies is explained by referring primarily to domestic political dynamics, avoiding overemphasis on influence from the West. By grounding our analyses on the development of a transnational order among East Asian societies on one hand, but focusing on trans-Pacific interactions on the other, our objective will be to re-assess not just the history of East Asian societies, but the history of the US, and its role in the shaping of a global order that remains crucially important to this day.</p>				

Course Code	5121461	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and Society in East Asia				
Faculties	MATSUBARA Kentaro				
Course Objectives/Overview	<p>This seminar aims to discuss the social / historical bases on which a modern legal system might operate in various East Asian societies, and to provide an introduction to some of those problems involving the integration of different legal traditions into a pluralistic yet coherent legal regime. We will focus on the tensions experienced by these societies, involving the importation of what were presented as "universal" values and norms, and the near-universal resistance to these values and norms, such resistance being based on the notions of custom and tradition. While the initial focus will be mainly on the experiences concerning the formation of legal institutions in China and Japan, students will be encouraged to bring in perspectives from other societies as well. The problems discussed will include: the difficulties regarding what exactly can be identified as East Asian legal traditions; how legal regimes were structured through the actions of actors exploiting the plurality of legal traditions; and how the relationship between legal arrangements and the political power-structure played out. Particular attention will also be paid to the issues of colonialism, and the uneasy relationship between Modernisation, Westernisation and Colonisation in these societies. The ability to read source materials written in Chinese and/or Japanese would be of much help, but will not be essential.</p>				

Course Code	5121463	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	European perspectives on law and society: a comparative and historical approach				
Faculty	Dimitri Vanoverbeke				
Course Objectives/Overview	<p>本演習は、日本の司法制度改革と市民参加の法社会学研究を中心に法社会学の初歩的能力を修得することを目的とする。日本だけではなくヨーロッパでも近年司法制度の改革が行われてきた。法規範・法制度・法政策などが日本とヨーロッパで実際にどのように機能しているか・機能していないのか、そしてその改革が何故そしてどのように行われてきたかをこの演習で考察する。司法制度改革が成功しているか、そして司法制度とその改革がどのように人々の意識に現れているのかを解明することは法社会学の重要な課題である。ヨーロッパの法社会学会における研究をいくつか紹介することによって、日本司法制度のあり方、改革への道のりや改革の効果を検証する。本演習に参加する者の法社会学理論と実証研究のつながりへの理解を深め、学際的アプローチの重要性の認識促進や視野を広げることもこの演習の目的である。</p> <p>なお、本演習は、日本の司法制度改革と市民参加に関する外国語科目に該当するものであり、主に英語の論文を取り扱う。報告・議論は、日本語と英語で行う。</p>				

Course Code	5121470	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際法の基本問題				
Faculty	寺谷 広司				
Course Objectives/Overview	<p>グローバル立憲主義の構想は、現在、国際法学における主要な秩序構想の一つであるが、他方、その名と裏腹に、普遍的に妥当しうる構想なのかについては争いがある。</p> <p>本ゼミは、 Takao Suami, Anne Peters, et al (eds.), Global Constitutionalism from European and East Asian Perspectives, 2018, CUP を購読する。</p>				

Course Code	5121490	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際法実務演習				
Faculty	鯉 博行／金子 弘征				
Course Objectives/Overview	<p>外交における国際法の役割につき、具体的な事例・問題に則し、実務家の視点を踏まえて理解を深める。各回毎に講師が具体的な事例・問題を設定して、関連する国際法上の論点を提起するので、参加者は提起された国際法上の論点について各自の考えを整理し積極的に議論に参加する。</p>				

Course Code	5121500	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際海洋法制度概論				
Faculties	西村 弓／許 淑娟／西本 健太郎				
Course Objectives/Overview	<p>海洋にかかわる国際法上の問題は、日本の対外関係および国際法実務において重要なものとなっている。そこで、本授業では、海洋にかかわる国際法制度の全体的な枠組について理解を深めることを目的とする。その検討のための具体例として、東シナ海のガス田開発問題、ソマリア沖海賊問題、資源探査や科学調査を含めた海洋調査規制など、近年、日本との関連で実際に懸案となっている諸事象をとりあげて考察する予定である。</p> <p>担当者によるリレー講義（オンライン）の形式で進める。質疑応答を通じて、多様な参加者とのディスカッションを取り入れる。学際海洋教育プログラム科目の一つである。</p>				

Course Code	5121510	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	コーポレートガバナンス				
Faculties	林 良造／中原 裕彦				
Course Objectives/Overview	<p>コーポレートガバナンスとは、会社が、株主をはじめ顧客・従業員・地域社会等の立場を踏まえながら、透明・公正で迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みをいうものとされている。こうした会社のカタチは、金融市場・労働市場を含む我が国の経済社会の在り方に大きな影響を与えてきた。</p> <p>80年代までのジャパン・アズ・ナンバーワンと言われた時代には、我が国の会社のカタチこそが最も望ましいと称された。しかし、90年代に入り、バブル崩壊や不良債権処理の遅れが顕在化してからは、その脆弱性が指摘され、会社法・金融商品取引法・会計規則・税法などの諸制度の改正が劇的に進み、株式所有形態の変化などと相まって企業経営を監督するための制度環境は格段に充実した。そして、近年では成長戦略の一環としてコーポレートガバナンス改革が進みつつあり、いわゆる日本版スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コードの制定や累次の会社法なども行われるとともに、企業の買収を巡る動きも盛んである。また、ESGに関する議論の高まりを背景に、会社の経営者こそ社会のサステナビリティの維持に専心すべきであるといったいわゆるパーパス経営の議論も登場している。</p> <p>この分野は学際的な理論と実務が交錯する分野であるところ、この授業では、実際のコーポレートガバナンスの現場や海外のガバナンス制度との違いを視野に入れつつ、我が国のコーポレートガバナンス制度が直面している課題及び適切な制度構築に向けた論点を検討し、更なる制度設計に向けた視座を得る。</p>				

Course Code	5122011	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	市民社会組織・政策論				
Faculties	田中 弥生				
Course Objectives/Overview	<p>「市民社会組織・政策論のめざすもの」</p> <p>市民社会組織（非営利組織）が、政策的課題として本格的に取り上げられるようになったのは東西冷戦終焉直後からである。だが、主たる期待は社会サービスの補填機能であった。昨今、ポピュリズムや民主主義の危機が取りざたされる中で、大きな緊張感が生じている。こうした中で市民社会は正にも負にも作用する。そこで、ナチスなど歴史的要因にも着目しながら、市民社会とその中軸を担う非営利組織について考察することが本講義の底流に流れる問題意識である。</p> <p>2022 年度においては、パブリックへの参加と、その担い手としての非営利組織に着目して講義を構成する。</p> <p>社会課題の解決を自らの仕事のテーマ、ひいてはライフテーマにする人々が増えている。社会課題が横たわる領域は、多数の人々に影響をもたらすそれであり、ひいてはパブリックの領域（公共領域）と重なる。パブリックの領域は政府の占有物ではなく、社会情勢、市場の動向、規制などの法的条件の変化によって、常に変容する領域である。また、その担い手は行政機関などの公的機関に限らず、企業や民間非営利組織など多様な主体が担っている。</p> <p>本講義は大きく2つの柱で構成する。</p> <p>第1に、パブリック領域の中でも、個人や市民の自由意志と参加で築かれる民間非営利組織について学ぶ。ここでは、民間非営利組織に焦点を当てて、その存在意義を示す理論、さらにはマネジメントについて学ぶ。そして、パブリックの領域で活動する政府と非営利組織の関係性に着目し、官民協働にかかる政策とその影響に着目する。</p> <p>また、非営利組織は市民、企業、そして行政機関などと連携を行っている。また、組織を維持運営し、社会的インパクトを生むためには多くの市民の支持を得る必要がある。しかしながら、非営利組織には企業（市場）、政府（選挙）に該当するユニバーサルな評価メカニズムが存在せず、支持対象としてのNPOの評価基準が曖昧である。非営利の評価研究はそのような背景から生まれた。ここでは、評価の基礎的な考え方、主要な技術について学ぶ。</p> <p>第2に、パブリックに参加することに着目し、特に、この領域で働くことの意義について、各セクターからのゲストを招き、受講生と議論する。ゲストには、政府、民間営利（企業）、民間非営利のそれぞれ3つの組織で働く人々を招く。仕事の内容、そのプロセスを成果、個人にとっての動機などを聞きながら、自らの意思で社会課題の解決を通じて、パブリックに貢献することの成果と意義について議論する。</p>				

Course Code	5122035	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政府間関係論				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本授業は、自治体行政学を受けて、現代日本の自治体行政を、複数の政府間の関係からなるシステムである点に着目して、実際の制度と運用に即して概観することを目的とする。しかし、行政学の一分野としての側面を重視する観点から、現代日本の行政全般についても注意を払う。</p> <p>今年度は、人事行政の中核であるメリットシステムや能力主義について、行政一般や政府間関係にも焦点を当てる。具体的には、基礎的文献を素材として、指定された文献を事前に読んでくることを前提に、担当学生による報告と、解説の講義と、参加者間の討論を進めることとする。</p> <p>その意味で、実質的には演習形式を想定している。</p>				

Course Code	5122061	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	EU の政治とガバナンス				
Faculties	鈴木 一人				
Course Objectives/Overview	<p>欧州連合（EU）はユニークなガバナンスの仕組みを持っている。一方で、それは国際機関としての性格を有し、主権国家によって成立する組織である。他方で、EU は独自の政治的権限を持ち、EU 全域におけるガバナンスの中心にもなっている。本科目ではこうした EU のガバナンス能力がどのようにして構築されていったのか、どのような政策が EU の枠組みの中で展開され、加盟国との関係はどうなっているのかについてを論じる。本講義では近年の出来事である Brexit やポピュリスト政治の影響、移民問題、安全保障政策なども取り上げる。</p>				

Course Code	5122070	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 A（現代中国の政治）				
Faculties	高原 明生				
Course Objectives/Overview	<p>この講義は、建国以来、今日にいたるまでの中華人民共和国の政治と外交を主な対象とする。実質的な一党独裁を続ける中国共産党の思想、組織、政策、行動様式などが、如何に変化してきたか、あるいは変化しないままできたか、ということが中心問題である。当然ながら、その変化は国際環境の影響を受けている。</p> <p>日本やアジアのみならず、世界にとって、中国の重要性がさまざま</p>				

	な意味でますます大きくなることは間違いない。中国に関して、しっかりとした根拠に基づき、理性的に議論することが肝要であるが、中国政治は複雑かつはなはだ不透明である。それについて学び、理解することは難しいが、面白い。
--	--

Course Code	5122073	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 A (旧ユーゴスラヴィアの政治)				
Faculty	久保 慶一				
Course Objectives/Overview	<p>旧ユーゴスラヴィアの政治は、バルカン半島の小国でありながら近代以降の国際政治や国際法に大きな影響を与え、同時に、小国であるが故に、大国中心の国際政治に翻弄されてきた。19世紀初頭に起きたセルビア蜂起は、その後1世紀にわたって続く長期的なオスマン帝国崩壊過程の端緒となった。1914年のサラエヴォ事件は、第一次世界大戦の引き金となった。第二次世界大戦後の社会主義体制の成立は、ソ連とユーゴの対立から、冷戦構造における第三勢力としての非同盟運動の成立・発展につながった。冷戦終焉後に起きた旧ユーゴ各地での民族紛争は、国際社会が人道的介入や紛争後平和構築、移行期正義（戦争犯罪裁判）を主導すべきであるというポスト冷戦期の国際規範の形成につながった。このように旧ユーゴ地域で起きたことが国際政治・国際法に大きな影響を与えた一方で、旧ユーゴ地域で起きた諸事象は、国際政治の影響を強く受けたものであった。19世紀～20世紀初頭のバルカン半島における国家形成過程、第一次ユーゴにおける民主主義体制の導入とその崩壊・独裁制の成立、第二次世界大戦期の紛争と戦後の社会主義体制の成立、社会主義体制の崩壊と連邦解体といった諸事象は、いずれも国際政治の影響を抜きには理解できない。本講義では、域内に多様な民族がモザイク状に分布することに起因する複雑な国内政治過程と、バルカン半島の地政学的重要性に起因する国内政治と国際政治の強い相互連関性をできるだけ丁寧に読み解いていくことで、旧ユーゴスラヴィア域内の政治に関する理解を深めるだけでなく、国際政治のダイナミズム、国際法の適用やその変容過程についての理解も深めることを目指したい。また、国内の政治現象を説明する比較政治学の諸理論にも可能な限り言及し、そうした理論を旧ユーゴの事例に適用することを通じて、比較政治学の諸理論の妥当性を検証し、旧ユーゴ地域で起きた多様な現象を理論的に理解することも目指したい。</p>				

Course Code	5122083	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域政治 B(現代朝鮮半島の政治)				
Faculty	木宮 正史				
Course Objectives/Overview	<p>① 韓国（朝鮮半島）の現代史に関する理解を深める。 ② 韓国（朝鮮半島）の政治・経済・国際関係に関する分析を通して、政治学、国際政治学の理論に関する理解を深める。</p>				

Course Code	5122084	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域政治 B(現代ラテンアメリカの政治)				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	ラテンアメリカ諸国の独立以降の政治を、経済・社会変動の文脈の中で理解することを目的とする。時期的には現代に重点を置く。ラテンアメリカにおける人権侵害と移行期正義にある程度の時間を割く。				

Course Code	5122086	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 B(現代中東の政治)				
Faculties	池内 恵				
Course Objectives/Overview	中東諸国の各国政治および比較政治、中東地域の国際政治、中東をめぐる国際政治を、総合的に検討する。イブン・ハルドゥーン『歴史序説』に描かれた、中東の地理・環境に根ざした歴史的に繰り返される政治のパターンを理解した上で、中東各国の現代政治と国際政治の全体像を把握することがこの授業の目標である。中東政治の近・現代の発展を、(1)近代化、(2)イスラーム化、(3)統治術・勢力均衡を主要要素としたリアルポリティクスという三方向のベクトルが混在する場として理解し、変動の方向と幅を把握していく。				

Course Code	5122092	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 C(現代アメリカの政治)				
Faculties	梅川 健				
Course Objectives/Overview	この講義では、現代アメリカ政治を理解するための枠組みを提供する。				

Course Code	5122097	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 C (現代アメリカ政治特殊研究)				
Faculties	梅川 健				
Course Objectives/Overview	この演習では、アメリカ政治発展論の「古典」から出発し、近年の研究成果までを扱う。				

Course Code	5122110	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	自治体行政調査
Faculties	金井 利之
Course Objectives/Overview	自治体にとって人事行政は極めて重要なものである。それは、国による地方公務員制度および地方財政措置の枠組のなかで、人事当局と所管課・現場の職員による実務運用の蓄積と、首長をはじめとする政治の影響を受けて、生成発展するものである。メリットシステムや適材適所を標榜する人事行政は、職員のあり方を左右することによって、当面の地域住民の生活にも直結するが、職員育成は中長期的にも大きな影響を与える。このように重要な人事行政について、制度面・実務面の双方から、検討を深めていきたい。

Course Code	5122114	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Local Governments and Internal Affairs in Japan				
Faculties	MASAKI Yusuke				
Course Objectives/Overview	In Japan, local government expenditure accounts for approximately 60 percent (100 trillion yen per year) of national and local governments' expenditures. This course addresses the local government system and public finance in general as well as a wide array of policy areas handled by local governments, including welfare, education, agriculture, urban planning, and emergency management.				

Course Code	5122135	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	New Dimensions of Security in the Risk Age				
Faculties	HENG Yee Kuang				
Course Objectives/Overview	<p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.An ability to understand and evaluate a range of new security challenges and policy responses in a World Risk Society interconnected through globalization and technology 2.The linkage between industry, media, politics, and science and its relevance to global security affairs 3.The ability to collate and evaluate arguments from different sources and theoretical perspectives 4.The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms 5.Critical thinking, analytical and reading skills 				

Course Code	5122137	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Ethics and International Relations				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	The course is divided in 12 teaching units of 100 minutes each. Each teaching unit comprises 50 minutes of lecture, a ten-minute break, and about 40 minutes of seminar and/or students' presentations. The seminar is structured around exercises				

	and discussions related to the topic of the lecture previously delivered, and requires the student to have covered the readings in order to be able to actively participate in class discussions. The first lecture presents an overview of the course and its contents, the last one a summary of all previous lectures.
--	---

Course Code	5122139	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary British Foreign Policy towards Asia				
Faculties	ALASTAIR Morgan				
Course Objectives/Overview	<p>The course will survey the development and practice of contemporary British diplomacy towards Asia. It aims to provide insights into policy formation and delivery; challenges and dynamics in the Indo-Pacific region; Britain's multilateral and bilateral diplomatic relations within the region, in the context Britain's perceived global role. It will survey different fields of Britain's diplomatic activity in Asia: traditional foreign policy; defence, intelligence and security engagement; development assistance; trade and investment; consular affairs and crisis management; cooperation in science and technology; climate diplomacy; cultural affairs and public diplomacy. It will examine key issues in Britain's diplomatic relations with China, Japan, the Korean Peninsula, South-East Asia and the wider Indo-Pacific. It will examine the relationship between Britain's policy towards Asia and the policies of the US and Britain's European allies, partners and competitors, and the framework provided by international organizations.</p> <p>The course will address questions such as how Britain defines and seeks to pursue its interests in Asia, independently and with partners. How have Britain's interests and objectives changed historically and how are they likely to change? What is the balance between traditional and non-traditional security concerns, and between bilateral interests and sustaining the international order and global commons? How well has Britain succeeded in projecting its global aspirations in Asia and effecting an 'all of Asia' policy? Is a further strategic 'tilt to the Indo-Pacific' achievable? What are the consequences for British diplomacy of the rise of China? What are the various interests and aspirations of Asian countries in their engagements with Britain, and how should Britain respond to them? What have been the implications of Brexit and the Covid-19 pandemic for Britain's foreign policy and diplomatic practice?</p>				

Course Code	5122140	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際政治経済の諸問題				
Faculties	飯田 敬輔				
Course Objectives/Overview	<p>本演習は国際政治と国際経済の接点にある各種の問題について実証的に研究することを目的とする。輪読のテーマは、主要国の貿易政策の比較である。米国、日本のみならず、その他の主要国の貿易をめぐる政策決定過程を幅広く取り扱いたい。文献については開講後指示する。</p>				

Course Code	5122159	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	Transformation of Warfare and Technology
Faculties	AOI Chiyuki
Course Objectives/Overview	<p>There have developed quite separate debates concerning, on the one hand, the Transformation of Warfare, and Revolution in Military Affairs on the other. Conventional knowledge is that while the former approach encompasses a vast range of scholarly analysis on how war in the contemporary era might have transformed in all spheres of economy, politics and society, the latter has focused on the impact of technological advancement in a narrower sense on warfare, especially the way in which warfare has been conducted or ought to be conducted. However, to discuss changes in the character of war in these quite distinct spheres, each with specific preoccupations with no interactions, is not very conducive to a meaningful generalization about the transformation of warfare itself.</p> <p>The purpose of this seminar is to consider the impact of modern and contemporary technological changes, especially focusing on communication and media spheres, on the character and conduct of warfare today, hence bridging the two distinct spheres of interests.</p>

Course Code	5122170	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	西欧比較政治論				
Faculties	中山 洋平				
Course Objectives/Overview	<p>*現時点 (2/19) では以下の2案を検討している。A セメ開講であるため、なお構想段階に留まる。今後、内容を固まり次第、随時シラバスを更新して告知する。</p> <p>A 案 市場化・自由化のインパクトの比較政治 90年代に本格化したグローバル化は、西欧諸国においても経済運営の体制を大きく市場化・自由化の方向に導いた。移民排斥の急進右翼政党の隆盛など、各国政治の変動の背後にはこうした社会経済面の変化があったと広く理解されている。他方、経済の市場化・自由化のあり方は、西欧諸国の間でさえ、労組など社会パートナーの役割など、様々な点において、国毎に大きく異なっていたことも指摘されている。今回の演習では、国毎の市場化・自由化のパターンを把握した上で、その違いが90年代以降の西欧各国政治の進路にいかなる差異を生んだのか、を検討していきたい。</p> <p>B 案 第一次大戦後の労働運動とファシズム 第一次大戦は西欧各国の労働運動に大きな衝撃を与え、変貌した労働運動の余燼を受ける形でファシズム運動が台頭した。その因果は同時代から様々に検討されてきたものの、各国の事例の独自性が強調されすぎる傾向があった。今回の演習では、国毎の経路の比較を通じて、戦間期民主制に対する大戦のインパクトを新たな視角から検討していきたい。</p> <p>***注意***</p>				

	題目も内容も暫定的なものに過ぎない。開講 1 か月前を目途に確定してここに掲示するので、履修予定者は必ず確認すること。
--	---

Course Code	5122182	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy				
Faculties	TAKAHARA/IOKIBE/KATO/KAYASHIMA/KITAOKA/KITANO/SAWADA/NISHIZAWA/MATSUBARA/HAYASHI/MAKIHARA/YAMADA				
Course Objectives/Overview	This course is designed to offer an overview of Japan's experience in modernization and how it has extended its assistance to other countries' modernizing efforts. As the first non-western country to modernize, Japan's experience, both positive and negative, presents an important reference point for other countries to investigate. This course is conducted in cooperation with JICA, the Japan International Cooperation Agency. Those taking part in the JICA Development Studies Program are required to take this course, while other students are most welcome to take part.				

Course Code	5122201-1	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Chinese Politics				
Faculties	LIM Jaehwan				
Course Objectives/Overview	This course has three objectives. First, students will acquire a basic knowledge crucial to understanding domestic and international affairs relating to China. Second, students will learn major theoretical debates about how to explain China's political development, particularly Chinese politics under Xi Jinping. Third, students will be expected to gain analytic skills to conduct an original research on Chinese politics.				

Course Code	5122201-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Chinese Diplomacy				
Faculties	高原 明生				
Course Objectives/Overview	This course looks into the diplomacy of the People's Republic of China. It discusses the development of Chinese diplomacy from the days of Mao Zedong and Zhou Enlai to the current period. Important questions to be tackled include the policy process, especially the linkage between internal politics and external policy.				

Course Code	5122202	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	比較政治学・概論				
Faculties	MCELWAIN Kenneth				

Course Objectives/Overview	研究者を目指す大学院生に向け、比較政治学における主要なトピックを紹介する。世界の研究者はどのようなテーマに関心を持ち、理論や方法論はどう発展してきたのか。先行研究の問題点は何であり、どう解決するべきなのか。受講生は議論を通して、政治学における様々な概念についての理解を深めることができるだろう。
----------------------------	---

Course Code	5122207	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Policy and Governance in Contemporary China				
Faculties	JIN BEI				
Course Objectives/Overview	This course would introduce the key political, economic and social issues in contemporary China, and the policy measures taken by the Chinese government. Regarded as the "most serious competitor" to the United States, China's development direction and challenges would also be discussed. By the end of this course, students would be expected to be able to understand how China has achieved rapid economic growth and social transformation, the fundamental characteristics of policy and governance in China, and their impact on the current issues and future challenges.				

Course Code	5122211	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	発展途上国の政治				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	発展途上国の国内政治に関連する基本的概念と理論を習得し、発展途上国の政治の構造と力学を広い意味で理論的に理解する。また、政治における暴力の問題を分析する。				

Course Code	5122215	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	先進国の比較政治				
Faculties	古賀 光生				
Course Objectives/Overview	事例研究を基礎とする比較政治学の手法を用いて、政党システム論の基礎を確認しつつ、その拡張の可能性を検討します。受講生には、「理論」の構築過程を確認することで、比較政治学が持つ可能性と限界を理解して自身の研究や実践的な活動にその知見を活かすことを期待します。 議論の前提となる諸前提に起因する理論の射程を意識しつつ、理論を自ら構築し、かつ、実際の分析に活用するための能力を高めることを目標とします。				

Course Code	5122219	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	Strategic Communications and International Politics
Faculties	青井 千由紀
Course Objectives/Overview	<p>Strategic communications occupy a particularly significant place in world politics today. This course provides the background for understanding the expanded role of communications in contemporary international security and provides a theoretical framework for analyzing/explaining the role of communications in contemporary diplomacy and statecraft. This course will further situate contemporary uses of strategic communications in the evolving character of warfare today, especially the hybridization of threats and warfare. Issues covered include: the social impact of the evolution of ICT technologies; functions of strategic communications; public affairs and public diplomacy; military psychological operations and information operations; history of disinformation, misinformation, and malinformation; uses of strategic communications by non-state actors; governmental institutions and the apparatus of strategic communications; and strategic communications in Asia and the Indo-Pacific.</p> <p>This course is also a preparatory course for the GraSPP-King's College London double-degree programme.</p>

Course Code	5122222	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	情報社会と総合安全保障				
Faculties	鈴木 寛／高見澤 将林／山内 康英				
Course Objectives/Overview	<p>(1) この授業の目標は、日本の情報社会と総合安全保障を主題として、(i) 既存の社会科学のさまざまな分析の枠組みを理解し、(ii) 具体的な社会事象に結び付けて解釈する方法を身に付けることです。また (iii) PBL を通して研究文献やオンライン資料を使った調査研究の手法を学びます。講義で取り上げる具体例を参考にして、論文作成や調査研究に応用するよう学生の皆さんに求めます。</p> <p>(2) 受講生の皆さんは、シンボリック・アナリストつまり抽象的な概念を使って組織活動やビジネス・スキームを構築する良き職業人となり、公的職業や付加価値の高い職務をこなさなければなりません。そのためには現在の日本社会の動向と、その歴史的推移を把握することが先決です。具体的には、(i) 日本の情報社会の政治経済の動向について包括的に理解するとともに、(ii) 情報産業や社会のリスク管理について基礎的な専門用語つまり語彙や概念を理解し、これを使って議論を組み立てる能力と、(iii) 社会と実践共同体が求める正しい振舞い、つまり公德 (public virtue) に立ちかえって考える習慣を身につけることが大切です。</p> <p>(3) 言葉は、「目と耳から入り、口と手から出るもの」、つまり “words in words out” です。まず基礎的な専門用語を身につけない限り、修士論文を書くことも、ビジネスや行政の実務で企画書のパワーポイントを作ることもできません。毎回講義をしっかりと受講して、身近な関心のあるテーマを選び、期末レポートでは自主的に調査と研究を進めて下さい。</p> <p>(4) 講義では毎回トピックを一つ選んで、(i) そのトピックに関連した社会科学の緒理論と、(ii) 具体的な検討事例を解説します。成</p>				

	<p>績は、①授業の貢献度と②期末レポートによって総合的に評価します。単位の必要な方は、かならず期末レポートを提出すること。</p> <p>(5) この授業を主催する鈴木教授は、霞ヶ関と永田町の実務経験を持つ公共政策の専門家です。また高見澤客員教授は、防衛省の実務経験の長い安全保障の専門家です。山内客員研究員は、インターネットのシステム開発と運営や、JICAのコンサルタントとしてアジア諸国のインフラ建設に参加した実務経験があり、また東京大学大学院総合文化研究科の博士号（国際関係論）を持ち客員研究員を兼務しています。</p>
--	--

Course Code	5122226	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Cross-Strait Relations				
Faculties	MATSUDA Yasuhiro				
Course Objectives/Overview	<p>Course Description</p> <p>The aim of this seminar is to introduce and analyze the political history of Taiwan and the Cross-Strait relations, or relations across the Taiwan Strait. It will seek to identify core issues in Taiwan and the Cross-Strait relations from dimensions of history, politics, economy, international relations, and regional security. The main requirement for this seminar is a 20-minute research presentation and paper writing on a topic to be agreed upon in consultation with the instructor. Students are requested to read required readings beforehand and post short comments (including questions within 200 words) of them at ITC-LMS one day before the class. All the students who are interested in politics and international relations in East Asia are welcome. Lecture, presentation, discussion, and paper-writing are done in English.</p>				

Course Code	5122237	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Diplomatic and Security Issues in East Asia: an International Perspective				
Faculties	Guibourg Delamotte				
Course Objectives/Overview	<p>Provide students with some knowledge of International Relations and World Politics on topics of particular relevance.</p> <p>Help them learn to express their ideas and thoughts in a convincing way in English – orally or in writing.</p>				

Course Code	5122297	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ジェノサイド加害者の心理				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	<p>初期にはほぼホロコーストに限定されていた大規模虐殺の加害者研究は、近年裾野を拡大して進展を見せている。加害者の心理に注目する研究は、その重要な一部を成す。本授業は、ジェノサイドの</p>				

	加害者の心理を理解することを目標とする。
--	----------------------

Course Code	5122298	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	否認主義－人権侵害から目を背ける				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	現在または過去の虐殺や人権侵害の事実を否定することは頻繁に観察され、「否認主義(Denialism)」と呼ばれている。加害者や加害団体のメンバーが事実を否認するだけでなく、第三者もしばしば人権侵害から目を背けて無関心を決め込む。また被害者が事実から目を背けることさえある。本授業は、このような否認主義の多様な姿とその背後にあるメカニズムを理解することを目標とする。				

Course Code	5122370-2	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治学文献講読				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	<ul style="list-style-type: none"> ・技術革新に伴う資本主義の変容や、ポピュリズムや権威主義の台頭、ブレクジット、トランプ、そしてコロナ禍など民主政治の危機が叫ばれています。2022年度の演習は、約20年ぶりに「2コマ連続＋毎回洋書1冊」方式を復活して、資本主義の変化と民主政治の在り方に関する学術書を講読します。それぞれのテキストが主に取り上げるのは欧米の民主政治ですが、各回の授業では、これらの議論が現在及び将来の日本に当てはまるのか、当てはまらないのか、該当しないならばなぜなのかを念頭に置きつつ議論を行います。 ・法学部生と公共政策大学院生は、テキストのあらましを理解し、現実政治を自分なりの言葉で説明できるようになることが目標です。法学政治学研究科（及び研究者志望の法学部生）は、上記に加えて現実政治に対してレレヴァンスのある射程の大きなリサーチデザインを立てる力を養うことが本年度の演習の狙いになります。 				

Course Code	5122375	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Quantitative Social Science				
Faculties	IMAI Kousuke				
Course Objectives/Overview	Would universal health insurance improve the health of the poor? Do patterns of arrests in US cities show evidence of racial profiling? What accounts for who votes and their choice of candidates? This course will teach students how to address these and other social science questions by analyzing quantitative data. The course introduces basic principles of statistical inference and programming skills for data analysis. The goal is to provide students with the foundation necessary to analyze data in their own research and to become critical consumers of statistical claims made in the news media, in policy reports, and in academic research.				

Course Code	5122384	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Space Development and Public Policy				
Faculties	KIKUCHI／SHIROYAMA／NAKASUKA／KURIYAMA				
Course Objectives/Overview	<p>This course will offer the lectures by practitioners and specialists to learn the latest trend of space development and utilization, and related policy and regulatory framework, followed by policy proposal training on the specific legal and policy challenges through group work and individual report.</p> <p>Governance is an important topic for the current global space activities because the emerging space faring nations and companies challenge the existing frameworks. Government or national space agency has been the dominant actor in space activities and conventional space companies have mainly supported governmental space activities which contribute to the national interests. However, New Space companies that emerged in 2000s are conducting space activities with their own visions and business models. In addition, new space faring nations like UAE which is engaged in Mars mission are emerging. Further, due to the increase interests in SDGs, recently various space applications both by government and private sector are flourishing to support societal needs. With these new players entering the space activities, the issues such as increase of space debris have raised the concerns about sustainability of space activities. In terms of promoting sustainable space programs, as well as development of infrastructures and maintenance of industrial bases, government and national space agencies are still playing main role. As such, we are facing many legal and policy challenges with the governance of space activities.</p> <p>In FY 2022, the course will deal with the latest topics including space traffic management, space resources exploration, and space x SDGs, as well as the introductory lectures on space policy and law, and governance of various space activities. The course will also look at the role of actors (i.e. space agencies, industry, international organizations) and norm building and rule-making for sustainable space activities, in particular, on the Low Earth Orbit (LEO) and the Beyond Low Earth Orbit (BLEO). under the theme of "Governance of Space Activities".</p>				

Course Code	5122394	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー				
Faculties	平島 健司				
Course Objectives/Overview	<p>過去 10 年間、EU はさまざまな試練に直面してきた。とりわけ、ギリシア債務危機に始まった最初の「ユーロ危機」では、危機の中でとられた一連の対応が EU に内在する「民主的正統性」の問題を浮き彫りにすることになった。長年にわたり EU と加盟国のガバナンスについて考察を重ねてきた第一人者が、委員会を初めとする諸機関での参与観察を加味して分析を深めた近著をとりあげ、EU のあり方について考察する。</p>				

Course Code	5122400	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Governance				
Faculties	TIBERGHYEN Yves				
Course Objectives/Overview	TBD				

Course Code	5122451	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Health Policy and Governance				
Faculties	JIN BEI				
Course Objectives/Overview	<p>This course would introduce the fundamental structure of health systems, especially the role of health policy and governance in achieving higher performance. Six most common global health issues are selected, each is followed by the introduction of typical response adopted in various countries or on a global scale. By the end of this course, students would be expected to be familiar with key global health issues and corresponding policy options, as well as to be able to apply the analytic frameworks and practical tools presented in this course to identify and address problems in health systems.</p>				

Course Code	5122501	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	海洋科学技術政策論				
Faculties	山口 健介／城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>科学技術の進歩等により、「海洋の自由」という国際法上の原則では海洋の管理が不十分になりつつあります。すなわち、海洋調査技術、資源開発技術、エネルギー技術等の進歩により、海が資源としての意味を持ち始めた結果、海洋開発をめぐる権利や利益が利害関係者間で争われる対象として立ち現れてきました。海は誰のものか？どのように利害関係を調整するのか？本講義の目的は、科学技術が海洋権益を生み出す過程とそれへの対応過程を理解し、関連する公共政策上の論点を学ぶことです。国際海洋研究所によるベーシックなテキストブックを学び合う形式で進めます。評価は、授業への貢献を基本とし、レポート等を加味します。</p>				

Course Code	5122502	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	海事政策論				
Faculties	長谷 知治				
Course Objectives/Overview	<p>四面を海に囲まれた我が国の経済・国民生活を支える上で、海事産業は非常に重要な役割を担っている。例えば、輸出入貨物の99.7%は海運により輸送されている。 海事関係の主要分野には、国際・国内の海上輸送（貨物、旅客）、</p>				

	<p>造船、船員、港湾、水先、海上保安等が含まれる。それぞれの分野では、安全確保、事業振興、環境対策、セキュリティ、離島振興、観光振興、人材確保・育成等の視点から必要な政策が議論され、立案、遂行されることになる。また、海事政策においては法令・予算・税制といった国内における措置に加え、IMO, OECD, ILO 等国际機関への対応も重要な要素となっている。さらに海運においては古くから海運同盟等の競争政策について国際的及び国内的に重要な検討分野となっている。</p> <p>この授業では、海事関係の様々な分野の事業や業務の構造、歴史、制度、最近の課題や政策、今後の見通し等について、多面的に理解することを目標とする。このため、中央省庁における実務を踏まえた講義を行うとともに、様々な分野の第一線で活躍している実務関係者の話を聞いて対話する機会等を計画する。また、その際には海事だけでなく他の交通モードや政策分野、内外比較も踏まえることとする。</p> <p>なお、この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである海洋学際教育プログラムを構成する科目でもあることを踏まえ、法律、行政、海事産業等に関する予備知識があまりない者にも理解しやすいように配慮する。</p>
--	---

Course Code	5122503	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Political Economy				
Faculties	SUZUKI Kazuto				
Course Objectives/Overview	This lecture aims to help explaining and understanding the structure of international order and issues in international public sphere. The key concept for this understanding is globalization. Globalization of market, technology and international security closely knitting up states and actors to global arena, while political structure is geographically divided into 200-some sovereign states. Only these states have legitimate foundation of power to exercise its military, economic and legal capacities. The inconsistency between single global arena and locally divided political authorities requires new concepts and methodologies for analyzing international order under globalization.				

Course Code	5122504	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Science and Technology in International Relations				
Faculties	SUZUKI Kazuto				
Course Objectives/Overview	The objectives of this course are threefold. First, it will focus on how science and technology changed international relations. It argues that the development of science and technology in military, health, navigation and other technologies have impacted on the relationship of interstate power relationship and the civilization. Second, it will focus on how international relationship has shaped and directed the course of science and technology development. In this segment, it will take up space and nuclear technologies of which are subject of export control. Third,				

	it will focus on science and technology changed the structure of international trade, finance and intellectual base. It will argue how science and technology has impacted on international governance
--	--

Course Code	5122505	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Governance of Space Activities				
Faculties	VERSPIEREN Quentin / SUZUKI Kazuto				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to raise awareness on the critical role of space technology in our daily lives and the important implications it has on domestic policymaking and international relations.</p> <p>The first part of the course, titled "Space and Society", provides an overview of major space technologies and their applications. It then demonstrates how space assets have become a critical infrastructure on which advanced societies are over-reliant, and the hazards and threats that they are facing.</p> <p>The second part of course delves into political science and international relations. It addresses the various approaches to space policymaking, the structure of international relations in outer space and the major challenges ahead for the space sector.</p>				

Course Code	5122506	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Evidence-based Science & Technology Policy Design				
Faculties	柴山 創太郎				
Course Objectives/Overview	<p>Science, technology, and innovation (STI) shape the foundation of the contemporary society and thus make a major arena of public policy. The complex nature of the STI system poses various challenges, and effective policymaking approaches have been explored and developed. Evidence-based policy making (EBPM) is one such approach that is expected to address the challenges and has been implemented in STI policy design, although it has its own challenges and limitations. In this course, students are expected to learn the context of STI and the basis of EBPM as well as to learn how EBPM can be applied to STI policy design.</p>				

Course Code	5123021	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	環境政策				
Faculties	有馬 純				
Course Objectives/Overview	<p>地球環境問題とエネルギー問題の密接不可分な関係、IPCCの科学的知見と不確実性、地球温暖化をめぐる国際ガバナンスの動向、温暖化対策の理論と実際、我が国における温暖化対策、目標の動き等についての理解の増進を目的とする。</p>				

Course Code	5123026	Term	S1S2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	再生可能エネルギーと公共政策
Faculties	有馬 純
Course Objectives/Overview	エネルギー安全保障、温暖化防止両面から再生可能エネルギー導入拡大に向けた期待が高まっており、コスト低下も急速に進んでいる。同時に間欠性のある再生可能エネルギーの大量導入が系統に与える影響、他電源に及ぼす影響、補助負担の拡大等、様々な課題も顕在化している。本講座では再生可能エネルギー導入拡大のための政策の現状、課題及び主要な再生可能エネルギー源毎の課題、プロジェクトファイナンスのあり方等について講義を行い、再生可能エネルギーについてバランスのとれた視点を提供することを目的とする。

Course Code	5123028	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	観光政策概論				
Faculties	三重野 真代／佐藤 善信／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	<p>政府は 2003 年から「観光立国」の推進を掲げ、21 世紀の我が国経済を牽引する新たな輸出産業とするとともに、人口減少により規模が縮小する地方の創生の有効な手段として、観光を戦略的に成長させている。実際に、この間外国人観光客数は大きく伸び、コロナ禍前の 2019 年の訪日外国人旅行消費額は GDP の 5% を占め、我が国第 3 位の輸出サービス産業となった。また、観光は多様な関係者の取組で成り立っておりその波及分野の広さ、波及効果の大きさから、地域活性化のけん引役との認識も広まってきた。</p> <p>このように、観光は大きな成長の可能性を持っている一方で、従来の産業とは異なる特徴も多いことから、従来の政策手法の延長では成長が難しい面もあり、課題も大きいと言わざるを得ない。また、旅行者感覚や自らの勘と経験で考えるなど観光に対する理解が浅い者が多い状況も課題としてあげられる。</p> <p>本科目では、様々なゲストスピーカーによる講義やディスカッション、現地視察を通じて、観光の多様な側面を総合的かつ俯瞰的に理解し、我が国の成長や地域活性化を実現するための、あるべき観光政策の考え方や個々の取組や手法の在り方について、持続可能性を主軸に具体的に考察する。</p>				

Course Code	5123029	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	観光地域政策				
Faculties	三重野 真代／佐藤 善信／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	<p>政府は 2003 年から「観光立国」の推進を掲げ、21 世紀の我が国経済を牽引する新たな輸出産業とするとともに、人口減少により規模が縮小する地方の創生の有効な手段として、観光を戦略的に成長させている。実際に、この間外国人観光客数は大きく伸び、コロナ禍前の 2019 年の訪日外国人旅行消費額は GDP の 5% を占め、我が国第 3</p>				

	<p>位の輸出サービス産業となった。また、観光は多様な関係者の取組で成り立っておりその波及分野の広さ、波及効果の大きさから、地域活性化のけん引役との認識も広まってきた。</p> <p>このように、観光は大きな成長の可能性を持っている一方で、従来の産業とは異なる特徴も多いことから、従来の政策手法の延長では成長が難しい面もあり、課題も大きいと言わざるを得ない。また、旅行者感覚や自らの勘と経験で考えるなど観光に対する理解が浅い者が多い状況も課題としてあげられる。</p> <p>本科目では、様々なゲストスピーカーによる講義やディスカッション、現地視察を通じて、観光の多様な側面を総合的かつ具体的に理解し、我が国の地域活性化を実現するための、あるべき観光地域政策の考え方や個々の取組や手法の在り方について、持続可能性を主軸に具体的に考察する。</p> <p>また、各講義の内容・テーマの順番は前後することがあり得る。</p> <p>第1回 オリエンテーション、観光地域政策入門 第2回 観光とまちづくり 第3回 観光と地域住民 第4回 地域 DMO 第5回 都道府県 DMO 第6回 海外 DMO の事例 第7回 中間ディスカッション 第8回 観光と農業 第9回 観光と食 第10回 観光と災害 第11回 観光と鉄道 第12回 観光と空港 第13回 最終ディスカッション</p> <p>※京都市内現地視察あり</p>
--	--

Course Code	5123030	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	都市地域政策				
Faculties	軸丸 真二／高橋 孝明／河端 瑞貴				
Course Objectives/Overview	<p>現実の都市地域政策を経済学のツール等を用いて分析・評価する能力を養うことを目的とする。講義において実際に取り扱うテーマは、交通政策、土地政策、住宅政策、土地利用規制等の中から、適宜選択する。政策分析における GIS (地理情報システム) の活用法についても教示する。</p>				

Course Code	5123031	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域交通政策研究				

Faculties	軸丸 真二／宿利 正史
Course Objectives/Overview	<p>人口減少と超高齢化が同時進行する我が国において、地域のエッセンシャルサービスである公共交通は厳しい状況にある。さらに昨年初来の新型コロナウイルスの感染拡大により、我が国の交通・観光産業はかつて無い大幅な需要減に直面し、甚大な影響を受けている。地域公共交通も例外ではなく、経営やサービスの維持に困難をきたすなど従前にも増して深刻な事態に陥っている。</p> <p>一方、この感染拡大を契機として、働き方や生活のスタイル、移動の形態等社会の様々な場面で価値観の転換や行動変容が進みつつある。また、デジタル技術等の革新を背景に、交通事業者をはじめ幅広い民間企業において、MaaS (Mobility as a Service) の導入やビッグデータ・AI・自動運転技術などの活用の取組みが進みつつあり、「モビリティ」自体が大きな変革の最中にある。</p> <p>本授業では、こうした状況の下、地域住民の足であり、かつ、地域間交流の基盤であるとともに、観光振興にも不可欠な地域公共交通を持続的に確保・維持し、改善していくための政策の在り方について、各授業毎に具体の事例を採り上げて、当該事例の解説及びディスカッション並びに現地視察を通じて考察を深める。</p> <p>○ 本科目については、大学院横断型教育プログラム「科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム」の選択科目として位置づけられている。</p>

Course Code	5123032-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Energy Security				
Faculties	ARIMA Jun				
Course Objectives/Overview	Learn about individual energy sectors from global energy security perspective. Find out public policy issues for each sector and develop policy responses to enhance secure, affordable and sustainable energy supply.				

Course Code	5123032-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Energy Security				
Faculties	ARIMA Jun				
Course Objectives/Overview	Learn about individual energy sectors from global energy security perspective. Find out public policy issues for each sector and develop policy responses to enhance secure, affordable and sustainable energy supply.				

Course Code	5123033	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Energy Systems				
Faculties	KOMIYAMA Ryouichi／FUJII Yasumasa				

Course Objectives/Overview	In this course, basics of energy systems on and around nuclear energy are explained comprehensively. Environmental and economic evaluation methods associated with energy use and development are also mentioned so that the students can obtain balanced knowledge and ways of thinking of energy systems.
----------------------------	---

Course Code	5123034	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Resilience Engineering				
Faculties	SHIBASAKI Ryuichi / FURUTA Kazuo				
Course Objectives/Overview	Resilience is the intrinsic ability of a system to adjust its functioning prior to, during, or following changes and disturbances, so that it can sustain required operations under both expected and unexpected conditions. Resilience can be an advanced concept of safety based on probabilistic concept of risk and now drawing attention of researchers and practitioners. Resilience engineering is an academic area of study to pursue methodologies how to implement resilience to complex socio-technological systems. This lecture provides fundamental concepts, frameworks of resilience engineering as well as an up-to-date overview of specific applications.				

Course Code	5123036	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Advanced Topics in International Trade				
Faculties	FUJII Daisuke				
Course Objectives/Overview	<p>This is a graduate-level class of international trade, which is a natural sequence of the trade class taught in the spring semester. We will mainly study academic papers together to grasp the recent advancement of international trade theories. We will learn how the Eaton-Kortum (EK) framework of the Ricardian trade model is extended to explain recent trade issues, applications of trade models with heterogeneous firms, and many other topics.</p> <p>Students should have good understanding of the fundamental models of international trade: Heckscher-Ohlin model; Armington model; basic Ricardian model and Eaton-Kortum model; Krugman and Meltz models. Some of the basic models will be covered in the lectures if needed.</p>				

Course Code	5123038	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Data Science for Practical Economic Research				
Faculties	KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	<p>Despite its name, this class is on forecasting methods in economics and applications of machine learning methods to forecasting. A typical class on machine learning focuses on cross-sectional data, leaving almost no space for a discussion of how to work with time series data and how to make forecasts with such data. The purpose of this class is to cover this gap. This class might be useful for students who plan to work at financial companies and government entities tasked with making forecasts. We will closely follow the textbook by G. Elliott and A. Timmermann "Economic Forecasting". The book is quite advanced and requires good understanding of probability and statistics. During the lectures, we will cover</p>				

	<p>chapters from this textbook and perform hands-on sessions. All homework assignments for this class will be practical: students will be asked to apply methods covered in the class to real datasets. The required programming language is Python.</p> <p>Students taking this class will be assumed to be familiar with basics of Machine Learning, probability and statistics, as well as programming in Python.</p>
--	--

Course Code	5123042	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Trade				
Faculties	FURUSAWA Taiji				
Course Objectives/Overview	We will learn the core theories of international trade at an advanced level. We will cover the theories that have been used extensively in the research frontier of international trade. The aim for this course is to give enough knowledge and understanding to read papers in this field and to construct one's own model for analyzing various issues in international trade.				

Course Code	5123046	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	食糧安全保障と農業政策				
Faculties	山下 一仁				
Course Objectives/Overview	<p>どのような分野の政策でも、ファクツやエヴィデンスを踏まえて、これをロジック・セオリーで構築することによって、企画・立案する（考える）ことが必要である。しかし、日本の食料・農業政策は、誤った事実認識や観念に基づき、また経済的な理論による裏付けもなく、企画・立案されてきた。特に、高度成長期以来、農業と政治との関係が深まるにつれて、このような傾向が高まり、その結果、農政自体が、農業の後退、食料自給率の低下を招いた。</p> <p>この講義では、日本の食料・農業政策を批判的に検討しながら、それを通じて、政策の企画・立案に真に必要となる“考える力”を養う。</p>				

Course Code	5123062	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際開発政策・評価論				
Faculties	青柳 恵太郎				
Course Objectives/Overview	<p>エビデンスに基づく国際開発援助実践（Evidence-Informed Practice in International Development）のために必要となる基礎知識の習得を目指す。具体的には、①エビデンス（介入効果の検証結果）を用いた開発援助プロジェクトの立案ができるようになること、②有効性が実証されていない介入については、その検証方法（評価デザイン）を描けるようになることの2点を目標とする。後者については、特にランダム化比較試験（Randomized Controlled Trial : RCT）による効果検証を中心に据え、開発援助実務者の視点から実践方法について学</p>				

	<p>ぶ。</p> <p>RCTは確証度のもっとも高いエビデンスを作り出せる評価デザインである。その基本的な考え方は、対象者を介入群（介入を受けるグループ）と統制群（受けないグループ）にランダムに割り当て、介入群への介入実施後に両群の状態を比較するという非常に単純なものである。しかし、現実社会のなかでRCTによってエビデンスをつくり出す際には、開発課題を明確化させることに始まり、政策担当者や現場担当者との合意形成、検証方法のデザイン策定、実施プロセス管理、データ収集、分析、そして結果のまとめといった非常に泥臭いプロセスの中で様々な課題やつまづきに頻繁に直面することになる。本講義では現実味のある環境を想定した演習の中で準備からデータ分析までの一連のプロセスを体感することで、実践力を養成することを重視する。</p>
--	--

Course Code	5123081	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Political Economics				
Faculties	WEESE Eric				
Course Objectives/Overview	<p>The course is an introduction to the topic of political economics. The course provides theoretical and empirical coverage of the application of economic analysis related to political behavior and political institutions. The objective of this course is to develop understandings of basic models of political economics and related empirical analysis.</p> <p>This course is intended for students with an academic interest in political decision-making. It is aimed at those considering a career in research in political science or economics, but other students are welcome to attend.</p>				

Course Code	5123082	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Topics in Political Economics				
Faculties	WATANABE Yasutora				
Course Objectives/Overview	<p>This course covers some of the recent developments in political economics with emphasis on structural empirical work. It is intended for students with an academic interest in political decision-making.</p>				

Course Code	5123171	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政策担当者が語る日本の財政金融論				
Faculties	服部 孝洋／仲 浩史				
Course Objectives/Overview	<p>我が国の財政は、先進国の中でも最悪の状況になっており、財政構造改革が喫緊の課題になっています。また、経済社会がかつてない構造変化を遂げてきており、社会保障制度、国と地方のあり方、国際通貨管理等、戦後わが国の基盤となってきた様々な制度について、</p>				

	改革が求められています。本講義では、政策実務担当者をゲストスピーカーとして招いて、これらの現状についての理解を深めるとともに、課題の解決に向けた政策立案について学びます。
--	---

Course Code	5123172	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Evolution of Global Economic Policies				
Faculties	NAKAO Takehiko				
Course Objectives/Overview	<p>Students study through this course i) how economic policies have evolved since the demise of the Bretton Woods system in the 1970s, ii) what were impacts of Asian financial crisis in the late 1990s and the global financial crisis in 2008/09, iii) how Asian countries have achieved high growth and poverty reduction, and iv) what are new and emerging challenges for Asia and the World.</p> <p>Lecture is both theoretical and empirical, and based on the lecturer's experiences as Chairman of Institute, Mizuho Research & Technologies (April 2020-), President of Asian Development Bank (ADB) (2013-2020), Vice-minister of Finance for International Affairs dealing with G7, G20, and IMF issues (2011-2013), and other work at the Japan's Ministry of Finance, including tax, budget, and financial sector policy (1978-2013) and as an advisor in IMF's Policy Development and Review Department (1994-97).</p>				

Course Code	5123211-2	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Foundations of Development Economics				
Faculties	SAWADA Yasuyuki				
Course Objectives/Overview	This course will be composed of English lectures on advanced graduate-level development economics.				

Course Code	5123215	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Issues in Development Economics				
Faculties	CHEN Stacey				
Course Objectives/Overview	<p>This course covers contemporary topics in development economics. It is appropriate for graduate students in economics, public policy, agricultural and resource economics, and related fields.</p> <p>Students who have not taken Econometrics or equivalent might find this course challenging.</p>				

Course Code	5123221	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Interdisciplinary Issues in Development Economics				
Faculties	庄司 匡宏				
Course	This course covers interdisciplinary research topics in economic development,				

Objectives/Overview	<p>such as health, gender, non-cognitive skills, and community.</p> <p>Each topic consists of two sections. In the first section, we comprehensively review the broad literature in economics and related fields, such as sociology and psychology. The goal of this section is to understand various socio-economic issues in developing countries comprehensively.</p> <p>In the second section, we focus on a few recent empirical papers and discuss the details, such as their contributions to the literature, econometric methodology, and policy implications. This section aims to learn how to read and write academic papers rigorously.</p> <p>This course is for a broad range of students who are interested in any careers related to international development, including development practitioners and researchers.</p>
---------------------	--

Course Code	5123237	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Institutional Analysis of Japanese Economy I				
Faculties	中林 真幸				
Course Objectives/Overview	<p>In the early seventh century, the imperial court introduced the Chinese centralized administrative and land ownership regime, which only proved to fail to provide appropriate incentives to relevant stakeholders. Adjustment of the administration to reality brought about the manorial system.</p> <p>In medieval times, under the manorial system, land ownership and administrative system were characterized by multiple claimants and stratified authorities on a parcel of farmland. This complicated mechanism better worked to share risk and mitigate incentive problems that had become salient in ancient times.</p> <p>Then, in early modern times, the shogunate and lords came to protect peasants' exclusive property right of parcel farmland the peasant family cultivated, to provide augmented incentives to peasants who now became more resilient against external shocks. The protection of exclusive property right in the early modern times formed the institutional basis of the market economy. At the same time, the shogunate attempted to stabilize the peasant economy by regulating the farmland and agricultural financial markets. The regulation enabled social stability under the shogunate regime.</p> <p>After the Meiji Restoration, the exclusive property right was reauthorized, and farmland and financial markets regulations were abandoned. Furthermore, the modern judicial system, firm organizations, and modern technologies were introduced from the West. The modernization effort accelerated market expansion and ignited industrialization.</p> <p>How was the manorial system formed, and how did it mitigate incentive problems then? How was the property right of peasants established and protected in early modern times? Finally, how was Japan industrialized after the Meiji Restoration? In the real world, the first best resource allocation, which is presumed to be realized under perfect competition, cannot be achieved anyway. Given the structure of informational asymmetry and other technological conditions, a better second-best has been sought and has evolved overtime. The course aims to understand the economic development of Japan from medieval times, through the Tokugawa period and the Meiji Restoration, to the industrial revolution in the late 19th century.</p>				

Course Code	5123238	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Institutional Analysis of Japanese Economy II				
Faculties	NAKABAYSHI Masaki				
Course Objectives/Overview	<p>Industrialization from the 1880s not only accelerated the productivity growth but also transformed the Japanese society into a more market-oriented system, whose entire process is called the industrial revolution. The modern sectors in Japanese society composed a classical market economy from the 1880s to the 1910s. The development in the period was supported by the well-integrated international market and was at least partly accommodated by the pool of slack labor in the traditional sector.</p> <p>Since the 1920s, especially in the 1930s, those favorable environments were impaired. Without a stable international financial market, the macroeconomic stability of a national economy needs to be sustained by individual states. Such a global condition exacerbated the difficulty of managing the society as the labor market became tighter as the growing modern sector absorbed slack labor in rural regions. In the end, Japan chose a state-coordinated market economy after the experiment of command economy during the second world war.</p> <p>Then, from the 1980s, the economy gradually returned to the normal, rule-based market economy. The course is to overview institutional changes in the Japanese economy from the 1920s to the 2000s and understand how institutional and organizational factors work in a changing society.</p> <p>The current shape of the Japanese economy would be better understood by placing the structural reform in the last three decades in a broader context from the 1920s. This is our goal.</p>				

Course Code	5123245	Term	S 1	Credits	2
Course Title	保健医療経済学				
Faculties	康永 秀生				
Course Objectives/Overview	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療経済学の基礎知識を身に着ける。 2. 医療経済学の考え方に沿って、現実の医療経済政策における個別の課題について考察する力をつける。 				

Course Code	5123250	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	エネルギー政策				
Faculties	小山 堅／有馬 純				
Course Objectives/Overview	<p>わが国を取り巻くエネルギー情勢には様々な課題が山積している。コロナ禍の影響で世界のエネルギー市場は激動を示している。著しい供給過剰から、原油価格は一時期大暴落したが、その後、上昇に転じ、2021年後半からは原油価格が急上昇するなど、同時多発的エネルギー価格高騰が重大な問題となっている。また、ウクライナ情勢が緊迫化し、米中「新冷戦」など、厳しい地政学環境が国際エネ</p>				

	<p>ルギ情勢を揺り動かしている。世界のエネルギー供給の中心である中東情勢は一段と不透明化している。これらの動きに大きな影響を及ぼすのが米国であるが、バイデン政権の対外政策・国内政策で、国際エネルギー情勢や気候変動対策にも大きな変化が生まれる可能性が注目されている。世界のエネルギー市場の重心は、成長著しいアジアの新興国・途上国へとシフトしており、アジア市場で何が起ころかが、世界の重要課題となっている。EUを中心に進められてきた、「カーボンニュートラル」実現への取組みは世界で進展しつつあり、今後の「エネルギー転換」のカギを握ることになる。このように、世界で低炭素化・脱炭素化への取組みが進められる中、水素など革新的エネルギー技術の可能性が一気に重要性を増し、世界の注目の的となっている。</p> <p>東日本大震災後、わが国では、エネルギー政策包括的見直しが進められてきた。2030年のエネルギーミックスがようやく定まり、原子力発電所の再稼働も始まったが、今後のエネルギー政策課題は山積している。日本のエネルギー政策の基本となる、「エネルギー基本計画」が改定され、2021年10月に閣議決定された。2050年のカーボンニュートラル実現と共にエネルギー安全保障格も目指す、新しいエネルギーミックス・エネルギー政策の実施が重要な問題となっている。内外の最新エネルギー情勢を踏まえつつ、エネルギーセキュリティ問題と地球温暖化問題の一体的・統合的な解決を目指すエネルギー政策の現状と課題について、理解を深めるべく、講義を進めていく。</p>
--	--

Course Code	5123251	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	グリーンエネルギー論				
Faculties	杉山 正和				
Course Objectives/Overview	2050年にカーボンニュートラルを達成するためには、太陽光や風力発電を我が国の主要発電源とすると同時に、化石燃料を水素などのCO2フリー燃料で置換する必要がある。このような次世代エネルギーシステムに必要な発電やエネルギー貯蔵・輸送技術の原理を俯瞰的に理解し、それらが統合されたエネルギーシステムにおける課題と克服策を議論する。				

Course Code	5123262	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Asian Economic Development and Integration				
Faculties	園部 哲史				
Course Objectives/Overview	The course will provide various research topics related to Asian Economic Development. In each lecture, economist at Asian Development Bank Institute located in Tokyo (at Kasumigaseki) will give their research topics. No need for any preparatory courses.				

	<p>The objective of the class is to connect theory and econometric analysis with practical policies used in Asia and Pacific economy. The course will give ways to use economic analysis in actual policy making in Asian and Pacific region.</p> <p>When economic theory or econometric methods were used in the class, basic analysis will be reviewed by the instructor so that no need for prior knowledge in economic theory and econometrics.</p> <p>The lead instructor of the course is T. Sonobe who is Dean/CEO of Asian Development Bank Institute.</p>
--	--

Course Code	5123272	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	医療イノベーション政策				
Faculties	大西 昭郎／鈴木 寛／林 良造				
Course Objectives/Overview	<p>一国の医療の水準、そしてその結果としての健康の水準は、医療に対する支出の全体の水準と個別の価格設定、提供される医療の安全・安心や一定の質を確保するための国家の関与、医療事故に対する責任の構造、効率的で公平な国民のアクセスを提供するための人的・物的インフラの整備のルールなどに対して、医師、患者、病院、保険者、薬局、製薬企業、医療機器メーカーなど様々な主体が反応していく行動の総体として決定される。そして、これらの主体の行動や制度の有効性は、少子高齢化の進展、グローバリゼーションの展開、経済成長の動向、医療技術の進歩などにより変化している。</p> <p>本講義は、医療水準やその結果としての国民の健康の水準を決定する様々な制度について、当事者間の合意と市場の働きに委ねるのではなく国家の関与が必要とされる理由にさかのぼって考え理解するとともに、特に近年、医療・健康政策と経済成長のための政策の両面から注目されている「医療イノベーション」に視点を当ててこれらの諸制度の評価を行う。</p> <p>医療をめぐる近年の急速な技術進歩やグローバル化の進展を理解するとともに、基礎的科学から患者への提供にいたるヘルスケア産業のイノベーションの過程を取り上げ、国際的な比較を交えて、日本のイノベーション環境の評価を行う。また、「医療イノベーション」を経済成長のための政策としてみる場合の留意点について理解する。それらに合わせて、先端医療技術の活用におけるリスクや不確実性、個人情報保護、倫理上の課題も取り扱う。具体的な事例としては、医薬品・再生医療・医療機器に関する研究開発や承認プロセス等を扱う予定である。</p>				

Course Code	5123350	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Public Policy and Energy				
Faculties	YOSHIKAWA Hisashi／BIROL Fatih／KUSAKA Kazumasa				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide the students with a practical understanding of public policy in the context of energy and climate change policy. The students will be directed to develop pragmatic skills (presentation, communication, document</p>				

	<p>preparation, and time management) that will be useful for future careers not only in public policy but also in other fields such as business. The main angle of this class is public policy, through the window of energy policy. In short, this is a public policy course, which discusses energy and climate change issues as its main focus.</p> <p>The course will discuss policy makers' decisions, considering multi-faceted factors such as economy, national security, technology and innovation, foreign policy. International organizations play a significant role in this arena because of the global nature of energy, climate change and the policies. The course also aims to define the fundamentals of energy markets and systems. In addition, public policy issues such as trade-offs, evidence-based policy making, public awareness, and the role of various stakeholders will be picked up and discussed in the class. The students are encouraged to actively participate in the class discussion as this is a student-oriented class where students will be evaluated on their logic, clarity, pace, material, and timeliness.</p>
--	---

Course Code	5123400	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economic Analysis of Innovation				
Faculties	YARIME Masaru				
Course Objectives/Overview	<p>This course discusses the functions and mechanisms of innovation systems and the economic assessment of their impacts, with implications for industrial structure and dynamics and societal challenges. A particular attention is paid to corporate strategy, public policy, and institutional design. Among the issues to be discussed in this course include models of technological change, systems approaches to innovation, research and development, intellectual property rights, university-industry collaboration, public policy for innovation, and case studies in various sectors. The processes of producing, adopting, and utilizing innovations are elaborated from a perspective of co-evolution of technology and institutions. Analysis of economic evolution is introduced, and its concepts and methodologies are elaborated to represent and model the dynamics of innovations. Systemic approaches are taken to discuss the functions and structure of innovations at the national as well as industrial levels. These theoretical frameworks introduced in the first half of the course are utilized to understand the mechanisms of creating innovations on various types of societal issues, including food, energy, chemicals, information and communication, and health. Implications for public policy and institutional design are explored for a transition towards global sustainability.</p>				

Course Code	5123402	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Advanced Time Series Analysis				
Faculties	SHINTANI Mototsugu				
Course Objectives/Overview	<p>Most macroeconomic data show dynamic properties in the sense that the current value is connected to events in the past in some forms. A formal statistical analysis of this dynamic feature helps us understand and forecast the macroeconomy. In the course, we learn the basic time series models including autoregressive (AR) model, vector autoregressive (VAR) model, dynamic factor model and machine</p>				

	learning. Motivated undergraduate students are also welcome.
--	--

Course Code	5123405	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Financial Regulation				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide students with first-hand information and knowledge on global financial regulation and help them develop a broad understanding of financial regulation, paying particular attention to the global nature of financial regulation. The course covers key topics of global coordination of financial regulation. Issues covered are: history of global financial coordination, the 2008/2009 financial crisis, and the financial regulatory reform after the 2008/2009 crisis. The course in particular discusses key financial regulatory standards in the areas of global systemically important financial institutions (G-SIFIs), recovery and resolution, capital requirements, liquidity requirements, corporate governance, market based finance, over-the-counter derivatives, artificial intelligence (AI), financial technology (Fintech), cyber risk and digital currencies.</p> <p>Students taking this course for credits must take part in all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.</p>				

Course Code	5123433	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Sovereign Debt				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course has three objectives. First, it aims to help students deepen their understanding of the nature of sovereign debt—public debt compared with private debt (conceptual framework). Second, it tries to familiarize students with sovereign debt issues based on the past and current episodes (lessons from history). Third, it provides students with opportunities to discuss how we should manage sovereign debt to achieve policy goals (policy implications). Guest speakers will discuss selected issues based on their professional expertise, and guest advisers† will review and give comments on the final deliverables prepared by students. As a practical training course with active learning approach, students are required to give presentations, debate the current topics, and produce memos and reports. We know many episodes of sovereign debt crises. In the recent past, since the global financial crisis of 2008-09 and following the Eurozone crisis, large buildups of government debt in advanced, emerging, and developing economies have raised concerns over possible sovereign debt crises. There has been an ongoing debate about how to get under control Japan's sovereign debt, which represents more than twice the OECD members' average debt-to-GDP ratio. In China, debt owed by local government financing vehicles has been an issue of concern. Furthermore, in some of the emerging and developing countries, governments have been struggling with debt management while pursuing economic development by accumulating public- and private-sector liabilities to various creditors. Most recently, the COVID-19 pandemic has worsened the debt prospects for advanced, emerging, and developing economies in an equal manner. The G20</p>				

	<p>extended its Debt Service Suspension Initiative (DSSI) and endorsed Common Framework for Debt Treatments beyond the DSSI for the world's poorest countries as a remedy to address debt sustainability problems. One of the most pressing policy challenges is how to pull a particular country or the global economy out of a vicious circle of debt trap while securing gains from debt. We should recognize that the credit-addicted growth model consequently brings about growing public and private debts, which are one of the challenges we face in today's world.</p> <p>The scope of discussion will be connected with such sovereign debt issues as described above to add real-world relevance to student learning.</p> <p>† Guest advisers are: current and former staff of the International Monetary Fund (IMF) and the ASEAN+3 Macroeconomic Research Office (AMRO).</p>
--	--

Course Code	5123440	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	経済物理学				
Faculties	島田／和泉／坂地／高安（秀）／高安（美）／水田／山田／金澤／水門				
Course Objectives/Overview	<p>経済物理学の分野の概要を紹介するとともに、その応用例として、株式市場のデータ、外国為替市場のデータ、金融テキストデータやSNS データなどを利用した研究を紹介する。</p> <p>経済物理学の特徴は、これまでより高頻度・高解像度で観察されるデータの規則性、特徴を取り出すことにより、その市場やシステムの特徴を物理学的アプローチ、経済学的アプローチにより分析することにある。これらの特徴を把握するために必要とされる物理・数理・シミュレーション・マイニングの話題も解説する。</p>				

Course Code	5123450	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際交通政策				
Faculties	宿利 正史／軸丸 真二／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	<p>今日世界は、交通や情報通信技術の発達、市場開放などを背景に。様々な分野でグローバル化が進展する中で、米・中の対立、格差や分断の拡大、地球温暖化問題などに直面し、一層不確実性を増している。</p> <p>さらに、昨年初来の新型コロナウイルスのパンデミックは、全世界に大きな影を落とし、グローバル化の流れに大きな打撃を与え、現在なお進行中である。</p> <p>このような中、パンデミックによる移動制限や厳格な出入国管理により、国際間の旅客交通はかつて無い大幅な需要減に直面し、交通・観光産業の経営に甚大な影響を与えている。また、国際間の物流についても、パンデミックの影響を少なからず受ける国際市場において、新たな対応が求められている。</p> <p>一方で、コロナ禍の長期化を引き金に、働き方や移動の形態等社会の様々な場面で価値観の転換や行動変容が進みつつあり、最新のデジタル技術等の活用と相俟って、「モビリティ」自体が大きな変革の</p>				

	<p>渦中にある。</p> <p>こうした状況の下、人口減少と超高齢化が同時進行し、低い経済成長が続く我が国が、今後とも持続的な成長と豊かな国民生活を確保するためには、国際交通分野が、ウィズコロナ・ポストコロナの世界をしっかりと見据えて、国際社会と競争、連携しつつ、重要な役割を果たすことが期待される。同時に、こうした諸課題の克服を可能とする政策対応が急務となっている</p> <p>このような観点から、本科目では、我が国の将来を見据えた望ましい「国際交通政策」の在り方について、政策の現状や交通・運輸の実態を踏まえつつ、講義及びディスカッション並びに現地視察（2回）を通じて考察を深める。</p> <p>○ 本科目については、大学院横断型教育プログラム「科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム」の選択科目として位置づけられている。</p>
--	--

Course Code	5123471	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Labor Economics				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	<p>This course is a graduate level labor economics course. We pick up selected topics in labor economics. By the end of the class, students are expected to know how the literature has developed in selected topics. I will highlight the importance of data quality and research design in the empirical research. The topics covered include skill accumulation on the job, monopsony, minimum wage, temporary help agency, the role of technology in the labor market.</p>				

Course Code	5123475	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	機械学習の実証経済学への応用				
Faculties	川田 恵介				
Course Objectives/Overview	<p>現在急速に理論研究が進展している「機械学習の因果推論への応用」について紹介する。とくにコントロール変数の選択や効果の異質性分析について、機械学習を補助的に用いる手法が多く提案されている。これらの手法は分析の精度を向上させるだけでなく、現在実証研究において大きな問題となっている"Cherry picking"問題を緩和することも期待されている。</p> <p>本講義では、基礎的な因果推論と機械学習を学んだあとに、それらを融合させた手法群について学ぶ。また無料の統計ソフトである R を用いた実習も行う。</p>				

Course Code	5123480	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融論（金融制度と企業金融）				

Faculties	服部 孝洋				
Course Objectives/Overview	本講義では金融論を学びます。筆者の考えでは金融は経済学の知見が最も応用されている産業です。その意味で学生はこれらを勉強することを通じて大学での勉強と実体経済をより関連付けることができます。本講義では経済学の応用に関心がある学生はもちろん、経済学と実体経済の関係を知りたいと考える学生を歓迎します。企業金融論など日本の金融システムと関連付けた説明を行う予定です。なお、金融政策については別途講義があるため、本講義ではカバーしない予定です。				

Course Code	5123486	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Prudential Regulation of Banks				
Faculties	HIMINO Ryozo				
Course Objectives/Overview	The course aims to familiarize the participants with foundations of prudential policy and key concepts in the regulatory reforms implemented in the wake of the Global Financial Crisis. Relevant experience of the lecturer in the formulation and implementation of the Japanese financial sector policy as a former head of the JFSA and in international standard setting as a former secretary general of the Basel Committee on Banking Supervision and the chair of the Standing Committee on Supervisory and Regulatory Cooperation of the Financial Stability Board will be shared.				

Course Code	5123487	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Economic Crisis				
Faculties	UEDA Kenichi / KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	Understand objectives and effects of key policies related to economic crises from both theoretical and empirical perspectives. Economic crises can be classified to (1) currency crisis or BOP crisis, (2) sovereign debt crisis, and (3) financial crisis. Students are expected to become familiar with issues that are common, as well as specific to, each type of economic crises. The first two types can be called as macroeconomic crisis, but recently many countries have experienced financial and macroeconomic crises at the same time. Therefore, students are also expected to recognize structural issues on (4) finance-macro linkages in crises. Lastly, this course will cover recent policy discussions developed since the global financial crisis of 2008.				

Course Code	5123488-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融市場と公共政策				
Faculties	池田 宜睦				
Course Objectives/Overview	本講義では、金融市場や金融システムを巡り、これまでの現実的課題に対して、どのような政策対応がとられ、その効果はどう評価さ				

	<p>れているのか、という観点から、政策対応の背景や考え方、関連する理論、実証分析等について概観していく。将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング・ファーム、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、具体的には、非伝統的金融政策、マクロプルーデンス政策、金融システム対応、地域金融、政策金融、不公正事案に対する市場監視、コーポレートガバナンス、ベンチャーファイナンス、FinTech等のテーマを概説的に扱う。</p> <p>担当教員は、中央官庁（金融庁、財務省）における勤務経験を有する行政官である。講義に際しては、理論に加えて、現実の動きをバランスよく取り扱っていきたいと考えている。なお、本講義は、みずほ証券寄付講座の一環であり、公共政策大学院・経済学部の合併講義である。</p>
--	---

Course Code	5123495	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Monetary Policy				
Faculties	AOKI Kosuke				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では金融政策にかかわるトピックをマクロ経済学の分析手法を用いて解説する。取り上げる分野は、金融政策の波及経路、ニューケインジアンモデル、最適金融政策、中央銀行の独立性、資産市場と金融政策等、非伝統的金融政策である。</p> <p>講義は、単一の教科書に基づくものではないが、以下の教科書が有用である。"Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle" by Gali, "Monetary Theory and Policy" by Walsh. 講義ノートはウェブページで入手可能。</p> <p>To learn various topics on monetary policy. Topics covered include: identification of the monetary transmission mechanism, the New-Keynesian models, optimal monetary policy, unconventional monetary policy, central-bank independence, financial markets and monetary policy.</p> <p>The course will not be based on a single textbook, but the following textbooks are useful: ""Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle" by Gali, "Monetary Theory and Policy" by Walsh. Additional readings will be made available to students through the course homepage.</p>				

Course Code	5123498	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Advanced Industrial Organization				
Faculties	OHASHI Hiroshi				
Course Objectives/Overview	<p>This course is a PhD course in empirical industrial organization. Most real-world markets are neither perfectly competitive, nor strictly monopolistic; but rather involves strategic interactions among consumers and a few dominant firms. Observed equilibrium outcomes of these markets are thus often characterized by endogeneity and simultaneity. The focus of this course is to bring everyone to the modern toolkit commonly used by empirical IO researchers over the recent years</p>				

	and learn how to deal with technical issues arisen from such oligopolistic markets. This course also aims to introduce a variety of issues related to market power.
--	---

Course Code	5123499	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Financial Markets and Institutions				
Faculties	HATTORI Takahiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to help students develop a solid understanding of the basics of financial markets and institutions and provide useful economics background in formulating financial sector regulations.</p> <p>To this end, the course will cover key theoretical concepts (e.g. inter-temporal substitutions, financial intermediation, direct vs indirect finance, asymmetric information, moral hazard and principal-agent problem) and discuss several applications and practical issues. [Please note that this course will NOT focus on central banking and monetary policy.]</p>				

Course Code	5123505	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Empirical Market Design				
Faculties	SON Suk Joon				
Course Objectives/Overview	<p>The following is a preliminary syllabus.</p> <p>The focus of the course is to understand and discuss papers on empirical market design. Topics of the papers include, e.g., evaluating different forms of assignment mechanisms, testing the behavioral assumptions imposed on the market participants, using market design and assignment algorithms for program evaluation, identifying participants' preferences from the observed matching and choices, performing counterfactual evaluations, and connecting machine learning to market design. Applications include school choice, labor markets, personnel management, police assignments, organ exchanges, mergers, online marketplaces, coronavirus aid, and auctions.</p> <p>The first few lectures introduce the topic of market design. These lectures introduce the concept of market design, some fundamental theoretical results, practical applications, and an overview of the empirical literature.</p> <p>Then, each student takes turns to give presentations on a selection of papers. One or two papers will be presented each week. All students are expected to have read the papers before each class and to participate in discussions. They are also required to submit a one-page referee report for each paper in each class.</p>				